公 式 記 録

令和3年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会　決 勝 【 55 】

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日 時	2021 年 11 月 7 日（日） 13 ： 05 キックオフ				会 場	ノエビアスタジアム神戸			
天 候	晴れ	風	弱風	ピッチ	天然芝・人工芝・クレー	状 態	良好	試合形式	80 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原 弘樹	会場主任	石塚 俊一	記 録	芝切 淳 ／ 渡邉 悠	観 衆	無観客		
主 審	堀 善仁	副審1	小林 清訓	副審2	中川 琢士	第4の審判員	矢崎 翼		

チーム名			チーム名	
滝川第二高校	1	0	相生学院高校	0
選手番号 ○× 先 PK戦	前半 0 / 後半 1 / 延前 / 延後 / PK戦		PK戦 選手番号 先 ○×	kick off

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	延前	後半	前半	選 手 名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選 手 名	(学年)	シュート 前半	後半	延前	延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					多田 健司	3年	1	GK	GK	1	西野 立晟	2年					分	
	分					黒井 海舟	3年	2	DF	DF	2	吉村 陽楽	2年					分	
	分					黒田 蒼介	3年	25	DF	DF	22	山崎 遥稀	3年					分	
	分				1	島田 爽吾	3年	3	DF	DF	4	日高 光揮	3年					分	
	79 分					石原 巨雅	3年	17	DF	DF	3	多田 一成	3年					分	
	分			1	1	神谷 友騰	2年	29	MF	MF	11	山口 悠太	3年					分	
	分			1		倉内 晴久	3年	18	MF	MF	⑤	白倉 琉聖	3年					分	
	分			3＊	1	藤田 仁朗	3年	⑩	MF	MF	7	井上 拓也	3年	1	1			分	
	57 分				1	岸 留生	2年	22	FW	MF	8	森川 透海	2年	1				80+4 分	
	分			2	2	相原 禎汰	3年	9	FW	FW	10	福井 悠人	3年		2			分	
	80+4 分			1		田中 璃亜夢	3年	11	FW	FW	9	村越 優太	2年					分	
	分					阪本 圭裕	3年	21	GK	GK	17	山田 健太	3年					分	
	分					佐藤 颯介	1年	4	DF	DF	6	坂元 嵐太	3年					分	8
17	分					中村 武藏	3年	19	DF	DF	13	新家 崚太朗	3年					分	
	分					寺阪 蒼空	1年	6	MF	DF	14	小嶋 了雅	2年					分	
11	分					川崎 拓	3年	8	MF	MF	15	日高 吏都	1年					分	
22	分					亀井 大和	2年	5	FW	MF	16	酒井 輪	2年					分	
	分					元津 潤哉	3年	7	FW	MF	25	碇 心斗	3年					分	
	分					多田 柊史	3年	16	FW	FW	18	相宮 一翔	2年					分	
	分					平岩 航汰	3年	24	FW	FW	19	山本 隼人	2年					分	

時 間	警・退	No.	氏 名	事 由	合 計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合 計	時 間	警・退	No.	氏 名	事 由
3 分	警	25	黒田 蒼介	ラフ	14			8	6	シュート	2	3			5	分				
31 分	警	10	藤田 仁朗	反ス	7			4	3	ＧＫ	5	6			11	分				
分					1			0	1	ＣＫ	4	2			6	分				
分					11			7	4	直接ＦＫ	3	4			7	分				
分					1			0	1	間接ＦＫ	0	0			0	分				
分					1			1	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警２

得点経過	時 間	チ ー ム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
	80 分	滝川第二	10	藤田	1 － 0	PK ⑩ S
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	

戦評者　所 属 【 神戸国際附・芦屋 】　氏 名 【 石塚・上野 】

戦評

晴天の中、滝川第二4-3-3、相生学院4-4-2でスタート。立ち上がり、GKから丁寧にビルドアップを試みる滝川第二に対し、前線からプレスを掛けボール奪取を狙う相生学院。高い位置でボールを奪うことに成功した相生学院は⑩福井や⑪山口のドリブルからチャンスを作り、ロングパスを効果的に使いワイドに攻撃を組み立てゴールを目指す。対する滝川第二も前半飲水タイム後から徐々にアンカー⑱倉内がボールを受ける回数が増え、⑩藤田の多彩なドリブルやパスからチャンスを作り主導権を握るも、相生学院は④日高を中心とする体を張った守備でゴールを守り同点のまま前半終了。後半に入っても両チーム一進一退の攻防で試合が展開される。そのまま延長戦に入るかと思われた試合を決定づけたのは滝川第二キャプテン⑩藤田。終了間際に獲得したPKを左隅に冷静に決め、試合終了。先制点を奪われたあとも最後まで諦めずに滝川第二ゴールに迫った相生学院に賛辞を送ると共に、滝川第二の全国大会での活躍に期待する。

［備 考］ 新型コロナウイルス感染予防対策のため、無観客での試合開催